経営デザインシート(株式会社イチカワ)

自社の目的・特徴

経営方針

- 「信頼に応える、トランステクノロジー」をキャッチフレーズ
- ・「テクノロジーでつなぐ、産業、人、未来」を合言葉に、社会インフラの発展に貢献する
- ・電子機器、電子ユニット、鉄道車両装置、制御盤製造のものづくり技術で顧客課題を解決する
- ・設計から保守に至るまで、価値のあるビジネスを提案する

- ・自社技術の発展により、自社ブランドを確立させ、顧客や社会からも選ばれる企業として、世界の市場に参入していく
- ・デジタル技術の活用により、自社のものづくり基盤をスマートファクトリーに進化させる
- ・ビジネスを通じて、若手人材を社会で通用する人材に育成する
- ・創業100周年(2063年)に向け、地域に根をおろしつつ、人々の生活をより豊かにしていく

資源

内部資源

東京・瑞穂・群馬工場体制

・企画、設計・開発の提案力

・開発力、品質力、調達力

顧客との信頼関係、実績

<知財>

トランス製品のものづくり技術

外部調達資源

製造パートナー、協力会社

・試験設備、評価環境

製品の開発技術

取引先金融機関

ビジネスモデル



価値

事業ポートフォリオ

- ・要素技術(トランス、基板、ユ ニット)から、高品質・高信頼性の ものづくり
- 製造請負型の事業
- ・開発から保守のトータルサービス
- ・営業>リレーションシップ営業
- ・技術>製品開発、ソフト開発
- 東京工場>基板組立
- ・瑞穂・群馬工場>ユニット組立
- 海外・中国鉄道市場へ参入
- ・少ない指示で臨機応変に対応可能 高い顧客満足度
- モノづくりを知りつくしている
- <知財の果たしてきた役割>
- 製造リードタイムの短縮
- ・品質力向上にむけた活動

・海外メーカの台頭による価格競争

技術者の高齢化、人手不足

<知財> ● 大学との共同研究

・ものづくり産業は緩やかな回復基調

国内装置出荷額は安定推移

産業機器業界の市場規模は年々増加

提供してきた価値

<提供先>

- ・公共・産業用電子機器製造メーカ
- 各種装置製造メーカ

<何を>

- ・トランス・テクノロジー
- 高品質・高信頼性な機器・装置 顧客の高度な要求・課題の解決
- ・インフラ産業、社会の発展と繁栄
- ・日本のものづくり技術

提供先から得てきたもの

- 厚い信頼関係
- 製造技術、品質マネジメント

全社課題(弱み)

製造請負型の受け身体質となっ ており、新規顧客開拓、製品企 画力志向が希薄となり、環境変 化に対応する営業力、経営基盤 が脆弱となっている

内部資源

資源

- これまでの内部資源に加え、
- ・ビジネスデザイナー
- ・IoTシステムエンジニア
- グローバル人材
- ・ものづくりDX・DB・AI
- ・パートナーとの信頼関係
- 顧客との信頼関係

<知財>

- ・デジタルものづくり
- ·AI関連発明
- ・デザインレビュー

外部調達資源

- ・ものづくりパートナー
 - <知財>

共同研究、共同特許、共創

事業ポートフォリオ

これまでの装置製造事業に加え

ビジネスモデル

- ・iM-MANAGERによる中小企 業向けものづくり基盤提供事業
- ・ものづくり技術 X IT技術
- ・データ蓄積分析、AIモデル
- ・顧客生産基盤のカスタマイズ
- ・ものづくりソリューション
- ・DXを通じた顧客価値共創

<誰と組んで>

- 価値共創を求める顧客
- ・ものづくりパートナー
- 各国・大学・研究機関
- ・現地コンサルティング会社

<知財の果たす役割>

- · 差別的優位性
- ・生産性向上
- ・イノベーションの創出

提供する価値

価値

<提供先>

- これまでのインフラメーカに加え、
- ・ものづくり中小企業
- · 地域社会、日本社会、世界

<何を>

これまでの、機器・装置提供に加え、 データを活用した安心・安全、快適、 省エネおよび価値共創の

- ・ものづくりプラットフォーム
- ・ものづくりデータ・AIモデル
- デジタルものづくり人材
- 社会インフラ・サービス

提供先から得るもの

- ・厚い信頼関係、知名度向上
- ・イチカワのブランドカ
- ・新たな受注、新たな顧客
- 売上・利益の増加

これまでの外部環境

「これから」の姿への移行のための戦略

これからの外部環境

- +要素

- 社会・産業のデジタル化
- 再生可能エネルギー拡大
- 経済・社会情勢の悪化
- 労働力不足、人材流出
- 新興国市場の拡大 ・他産業からの新規参入

移行のための課題

- 製造請負の依存から脱却して価値提案企業となる
- ・生産プロセス改革による品質・生産性の向上 ・デジタル技術とデータによる社内ノウハウの共有
- ・意識改革で過去の実績・文化を捨てる覚悟をもつ

必要な資源

- デジタル生産設備
- ・IoTデバイス
- ・ものづくり量産設備
- ・ものづくりデータ
- ・データサイエンティ スト
- 知財 デジタルものづくり デザインレビュー

解決策

<次世代スマート生産ラインの構築>

- ・ユニット製造ラインをメインラインとして再構築(倍増計画)
- ・他社がマネできない付加価値を実現できるデジタものづくり体制
- ・スマート台車、iM-MANAGERを中核とするプラットフォームづくり
- ・自動化>制御化>見える化のステップでスマート生産ラインを構築
- ・稼動状況や実績データの可視化により適切な現場判断と経営の意思決定 <産学官ネットワークづくりの推進>
- ・●◆大学等の研究機関との共同研究、共同開発 ・中小企業ネットワーク(多様なパートナーとの良好な関係づくり)
- <人材育成> ものづくりとビジネスのデジタル化を推進できる人材を育成する ・ベテラン技能者から若手人材への技術承継